

発行：チボリ国際里親の会事務局編集部
事務局：〒110-0016 東京都台東区台東1丁目25-16 大熊ビル205
TEL.03-3835-1545 FAX.03-3835-1546 IPTEL.050-1371-1541
URL：http://www.jofpa.org E-mail：jofpa-tokyo@jofpa.org

チボリ国際里親の会会報 2011.5.20

Japan Overseas Foster Parent Association

発行年4回（2月、5月、8月、11月）

- 1 ……希望ある未来を！
- 2 ……第31回総会のお知らせ／臨時理事会報告
マリア・ガンダムさんからのメッセージ
- 3 ……平成22年度収支報告書
- 4 ……平成23年度予算案／活動計画
- 5 ……会員のひろば
- 5～6 ……コミュニティだより
- 6 ……事務局からのおたより

学校に行けないフィリピンの少数民族(チボリ族)の子どもたちを精神里親制度で支援しています

希望ある未来を！

理事 河原紀夫

3月11日に発生した東日本大震災は、次第にその壊滅的な被害状況が明らかになり、加えて福島第一原子力発電所の猶予すべき損傷被害が生じました。被災され皆さまには、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りします。

震災発生後は、東京も計画停電や鉄道の混乱で十分な事務機能を発揮できず会員の皆さまに多大なご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

その後、被災地域の会員の方々の消息を得るべく努力し、ほとんどの会員の無事を確認しました。なお、家屋など多くの被害を受けておられると存じますが、その詳細は把握できずにあります。

当会としては、被災地の方に、とりあえず10万円支援しました。支援金は、当会も参加している国際交流協会ネットワークの「国際ボランティアセンター山形」に送金し、被災地に早々に食糧などの支援活動が始められ、お礼状も届きました。活動の詳細はホームページ (<http://www.ivyivy.org>) をご覧ください。さらに、支援募金活動は、今後も続けていくことが先日の理事会で決まりました。

マリア・ガンダムさんやたくさんの方からもお見舞いのメッセージが届きました。

被災地の惨状は連日報道されてきていますが、これは決して他人事ではありません。この非常事態を我が身の如く受け止めて、皆で、節電、省エネなど今できることを実践し、そして、会員一丸となって「希望ある未来を！」の気持を被災地に届けましょう。

チボリの子どもたちの教育支援につきましては、会員の減少、現地の教育環境の充実、地域社会の生

活の向上などの状況を考慮して、サンタ・クルス・ミッション学校法人とは、平成25年5月まで逐一支援金を減額しながらも継続する契約を更新しました。その後につきましては、契約の更新をしないことを互いに確認しています。このような状況をふまえて、平成25年の契約終了後の当会の取り組みについて、今後のアンケートによりご意見の集約を計りたいと考えています。

いまだ現地では、貧しく、また学校が遠く通えない未就学児もいます。また、サンタ・クルス・ミッション学校法人からも、いくつかの自立支援プロジェクトへの支援申し込みがあります。さらに、永年ご支援いただいた会員の皆さまの支援への深い思い入れもあることと存じます。

このような重要なお判断・ご意見をいただくに先立って、出来るだけ多くの現地の情報を事前にお届けしたいと考えています。また、理事、支部長、前役員の方々から調査へのご意見をいただき、現地を訪問して、可能なかぎり現状を見聞把握したいと考えています。

会員の皆さまには、総会や支部会で忌憚のないご意見を積極的にお寄せいただきますようお願い申し上げます。

このたびの東日本大震災で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

会として支援を続けてまいります。皆さまのお志をお待ちしております。

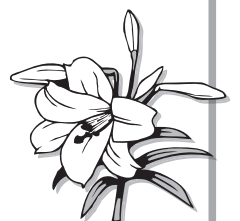
寄付金振込み先：

加入者名：チボリ国際里親の会

口座番号：01550-6-4104

通信欄に「東日本大震災義援金」

と必ずご指定ください。



第31回総会のお知らせ

開催日と場所が変更になりました。ご注意ください！

開催：2011年(平成23年)7月9日(土)
時間：午後1時30分～3時30分
場所：アジア学生文化会館 (ABK)
東京都文京区本駒込2丁目12番地13号
(地図参照)
電話：03-3946-4121 090-7717-0545

- 議題：1. 平成22年度活動報告と収支報告
2. 支援契約終了と理事の任期について
3. 平成23年度活動計画と予算案について
4. 現地訪問報告 (河原理事)
5. その他(支部長と会員からの意見・要望)



総会へ出席できない方は、同封ハガキ、ファックス、メールの何れかにて委任状をお出し下さい。

交通機関

<都営地下鉄三田線>
千石駅(A1出口)より徒歩3分
<JR山手線>
駒込駅(南口)または巣鴨駅より徒歩10分
<東京メトロ南北線>
駒込駅または本駒込駅より徒歩10分

会員の皆さま

SCMSI代表 マリア・ガンダム

フィリピンよりご挨拶申し上げます。

このたびの日本の大地震と津波はあまりにも突然すぎ、この惨事に世界中がショックを受けました。

わたしたちは、JOFPAの会員の皆さま方のご無事を心よりお祈りしています。

臨時理事会報告

日時：2011年4月11日12時30分～14時30分

場所：チボリ事務局

出席：南会長 鬼村副会長 河原理事 大須賀理事
事務局：関根 向山

南会長の挨拶で始まり、会として東日本大震災支援金を「国際ボランティアセンター山形へ送金した話がありました。

事務局より、添付資料に基づき、会費収入と会員口数、菅沼基金活動報告、送金覚書、里子報告、受難会修道女会への寄付、卒業研修旅行、東日本大震災支援金などの報告がありました。東日本大震災による被災地の会員の安否確認はほぼされており、無事が再確認されました。

続いて、第31回総会の協議事項について話し合われ、議案として“支援契約終了と理事の任期について”が加えられました。南会長作成の資料“支援契約終了の対応”についての説明があり、我々の役割を一旦清算し、アンケートで今後を会員に問うというものでありました。

次に、平成22年度収支と活動及び平成23年度の事業や予算(案)について話し合われました。平成23年度事業計画(案)に新たに下記項目を加えることとしました。

1. 会の今後についての調査とアンケート
2. 東日本大震災による被災地への支援

今年の理事・支部長合同会議は別途に開催せず、支部長の意見等は総会で発言していただくこととなります。総会開催は午後1時30分から3時30分までとなります。

今後、支援契約終了に向けて、河原理事が現地を訪問できるかどうか、調整し検討してみることとなりました。

(6月2日から4日まで、河原理事が現地訪問することとなりました)



JOFPAから寄付されたテキストでお勉強

平成22年度収支報告書

I 収入の部

平成22年4月1日から平成23年3月31日
チボリ国際里親の会 (単位:円)

科目	金額	備考	H22年度予算額	増減
前期繰越金	7,280,476		7,280,476	
当期収入				
会費	12,978,500	年会費24,000円X会員口数X0.78	11,800,000	1,178,500
一般寄付	227,658		200,000	27,658
特別寄付(菅沼)	101,000	医療関連	80,000	21,000
特別寄付(奨学)	706,500	奨学金関連(大学奨学生42,000円X口数)	924,000	△217,500
クリスマス寄付	175,000	クリスマス関連	200,000	△25,000
特別寄付(矢野)	300,000	卒業研修旅行	0	300,000
特別寄付(その他)	734,000	テキスト(20万円・受難会修道女会53万4千円)	0	734,000
その他の物品販売	253,074	民芸品販売・使用済切手	350,000	△96,926
受取利息	6,319			6,319
合計	15,482,051		13,554,000	1,928,051
合計	22,762,527		20,834,476	1,928,051

II 支出の部

科目	金額	備考	平成22年度予算	増減
事業費				
教育支援費	9,600,000	80万円X12カ月	9,600,000	0
給食支援費	1,000,000	10万円X10カ月(4.5月除く)	1,000,000	0
奨学生支援費	150,000	奨学生管理費(500円X口数X12カ月)	132,000	△18,000
特別支援費(クリスマス)	200,000	クリスマスプレゼント	200,000	0
(医療)	100,000	菅沼医療支援	100,000	0
(奨学金)	1,050,000	奨学金(3,500円X口数X12カ月)	924,000	△126,000
(修学旅行)	100,000	卒業研修旅行(矢野基金)	100,000	0
(テキスト)	200,000	テキスト	0	△200,000
(東日本大震災)	100,000	国際ボランティアセンター山形	0	△100,000
(修道女会)	534,000	受難会修道女会	0	△534,000
販売事業費	49,286	現地より民芸品買取・棚卸処理	120,000	70,714
(小計)	13,083,286		12,176,000	△907,286
運営費				
給与手当	1,204,440	事務局スタッフ3名(非専従)	1,150,000	△54,440
事務用品	100,247	什器リース・インク・用紙(封筒、ラベル)	200,000	99,753
印刷製本費	378,865	チボリニュース年4回発行	380,000	1,135
広報活動費	6,000	各種催し参加費	20,000	14,000
通信費	454,252	会報発送・電話・ファックス・サーバー費等	500,000	45,748
手数料	61,710	家賃更新料(52,500円)送金手数料	8,000	△53,710
旅費交通費	522,920	理事・支部長・事務局・ボランティア	550,000	27,080
会議費	4,114	会場使用料(総会・支部会)	10,000	5,886
賃借料	630,000	事務所使用料	682,500	52,500
水道光熱費	85,597	電気・ガス・水道料	78,000	△7,597
運搬費	4,910	各種催し参加のための運搬費	5,000	90
合同会議事業費	603,887	SCMSIとJOFPAの合同会議費(法人化基金より)	610,602	6,715
雑費	869	事務所・トイレ備品等	2,000	1,131
予備費	0		10,000	10,000
(小計)	4,057,811		4,206,102	148,291
当期支出合計	17,141,097		16,382,102	△758,995
特別基金へ繰り入れ	206,000			
特別基金取崩	1,011,887			
次期繰越金	6,427,317			

貸借対照表

平成23年3月31日現在

科目	金額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金	10,109
振替預金	8,685,388
普通預金	1,153,553
定期預金	1,111,211
棚卸	83,280
2 固定資産	
敷金	300,000
合計	11,343,541

科目	金額
II 負債の部	
未払金	812,365
III 正味財産の部	
菅沼基金	382,391
ティナラク基金	561,837
奨学基金	0
矢野基金	536,060
法人化基金	2,176,902
クリスマス基金	446,669
剰余金	6,427,317
合計	11,343,541

チボリ国際里親の会・平成22年度収支決算につき、以上のように報告します。

私たち監事は、上記会計報告につき、厳正な審査の結果、適正と認めます。

平成23年3月31日

会 長
事務局 会計
平成23年4月27日
監 事

南昌宏
関根 千恵子
坂詰 美代子
吉永 洋子



平成 23 年度 予算案

平成23年4月1日から平成24年3月31日

I 収入の部

チボリ国際里親の会 (単位:円)

科目		金額	備考
前期繰越金		6,427,317	
当期収入	会費	10,800,000	年会費24,000X会員口数X0.78
	一般寄付	100,000	
	特別寄付(奨学)	756,000	大学奨学生42,000円X口数
	特別寄付(菅沼)	80,000	医療関連
	特別寄付(クリスマス)	150,000	クリスマス関連
	特別寄付(その他)	200,000	東日本大震災支援
	その他の物品販売	100,000	民芸品・使用済切手
	合計	12,186,000	
合計		18,613,317	

II 支出の部

科目		金額	備考
事業費	教育支援費	8,800,000	80万x2カ月+72万x10カ月
	給食支援費	960,000	9.6万x10カ月(4.5月除く)
	奨学生支援費	120,000	奨学生管理費(500x口数x12カ月)
	特別支援費(クリスマス)	150,000	クリスマス
	(医療支援)	100,000	菅沼医療支援
	(奨学金)	756,000	大学奨学生42,000X口数
	(修学旅行)	100,000	卒業研修旅行
	(その他)	200,000	東日本大震災支援
	販売事業費	50,000	現地より民芸品買取
	(小計)	11,236,000	
運営費	給与手当	1,150,000	事務局スタッフ(非専従3名)
	事務用品	100,000	什器リース料・コピー機トナー・PCインク・印刷用紙等
	印刷製本費	450,000	チボリニュース年4回発行、封筒追加印刷
	広報活動費	10,000	各種催し参加費
	通信費	500,000	会報発送・電話・ファックス・サーバー費用
	手数料	8,000	送金手数料
	旅費交通費	550,000	理事・支部長・事務局・ボランティア
	会議費	10,000	会場使用料(総会、支部会)
	賃借料	630,000	事務所使用料
	水道光熱費	80,000	電気・ガス・水道料
	運搬費	5,000	各種催し参加のための運搬費
	雑費	2,000	事務所・トイレ備品等
	予備費	10,000	
(小計)	3,505,000		
当期支出合計		14,741,000	
次期繰越金		3,872,317	

平成 23 年度 活動計画

教育支援事業

1. 教育支援
2. 給食補助支援
3. 大学奨学生支援

その他の支援事業

1. 医療支援
2. クリスマスプレゼント
3. 卒業研修旅行
4. 東日本大震災支援

支援事業以外の活動

支援契約終了の対応(調査・アンケート)

チボリ・ニュース年4回発行

ブロック会・支部会の開催

古切手の回収

バザー・展示会・イベントへの参加

ホームページ更新

会員のひろば

千葉宏子（宮城県）

事務局はじめ多くの皆さまに、未曾有の大震災・余震の中、ご心配をいただき言葉にならない有り難さとうれしさを日々感じております。

日が経って行く中、知人・友人・身内との永遠の別れが明らかに…。そんな状態から皆さまから受けた優しさに元気づけられ、日々過ごしております。本当にありがとうございました。

心よりご冥福をお祈りいたします

事務局ボランティアの山田茅畝子さん（東京都会員）が、4月11日逝去されました。チボリに熱い情熱をもたれ、監査役として、また、ボランティアアデーやバザーに駆けつけ事務局を助けてくださいました。ほんとうにありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。



山路典子（広島県）

古切手と書き損じ及び未使用のはがきを送ります。平成25年5月までの支援ということだそうですが、最後まで会員として続けたいと思っています。入会時幼稚園児だった息子と娘は社会人となり、娘は昨年結婚し、年月の流れをしみじみと感じています。老人ホームの介護福祉士として働いていましたが、重労働で身体を痛め4月に退職することになりました。また、次の仕事を探したいと思います。チボリのためにまだまだ頑張らないと思っています。

高見沢かよ子（長野県）

平成23年スタートしすでに3月、平成24年、25年と会の最後まで支援できますよう頑張りたいと思います。

大阪の会員・橋口頼道さんが、カトリック平野教会の会員の方へ「チボリ国際里親の会」の支援を呼びかけてくださいました。ありがとうございます。



菅沼医療基金報告

SCMSI代表 マリア・ガンダム



活動及び実績（2010年7月から2011年2月）

SCMSIの保健室では軽い症状がある593名の子どもや学生に薬を与えました。患者の症状による施薬に関し、教師にオリエンテーションを行いました。

病名	子ども・学生数
インフルエンザ	246
咳	122
上腹部痛	105
下痢	36
めまい	34
その他	50

歯科サービス

自治体には歯科医が1人しかいません。SCMSIでは歯科検診を3回行いました。300名の学生が受け、117名の学生が抜歯をしました。

通院患者への投薬

医師が多忙で不在がちなため、巡回診療は行えませんでした。通院患者191名に、診察後、薬を無料で与えました。



チボリ族住民の人々の健康維持に永年にわたり大切な役割を果たしている菅沼基金に、SCMSIは心より感謝しています。ありがとうございます。

（菅沼基金はチボリ族のコミュニティの人々や子どもたちの健康増進を支援するための医療基金です）

里子の 進学状況

JOFPAが支援した里子の小学生49名、ハイスクール生26名、SCMSIカレッジ生2名、奨学生5名が卒業しました。

6月から始まる新学期の小学生とハイスクール生進路報告が届きました。全員が進学を希望しているという吉報です。

小学校を卒業した49名

*11名がレムエヘクハイスクールへ
*16名がデコロンハイスクールへ
*22名が公立ハイスクールへ
(ラヒット、レムエロー、ニアン、ツプラン小学校の卒業生全員が公立ハイスクールへ)

ハイスクールを卒業した25名

*8名がミンダナオ国立大学へ
*12名がSCMSIカレッジへ
*5名がその他のカレッジ

学年度中に里子25名が
残念ながらドロップアウト
してしまいました。

理由：病気……1名 父、死亡……1名
転校……4名 経済的……15名
結婚……4名

事務局からのおたより

■総会開催について

7月9日(土)1時30分より開催します。詳細は2頁をご覧ください。ご出席できない方は委任状の提出をよろしくお願いいたします。

現地訪問 (調査)

6月2日から4日までの日程で、河原理事が現地訪問をされます。

■受難修道女会建て替えへご寄付

60名の方から合計56万4千円のご寄付をいただきました。修道女会へは、事務局の手料金を差し引いた53万4千円を、6月初めに届ける予定です。皆さまのご協力に感謝いたします。

■ご協力ありがとうございました！

前号でご協力をお願いしました書き損じはがきが早速お送りいただきありがとうございました。事務局からの通信に使用させていただきます。

JOFPAへのご支援・ご協力ありがとうございます 敬称略(2011年2月11日~2011年4月30日)

■新入会員 (< >内はご紹介者又は入会のきっかけ)
なし

■ご寄付者 (ご寄付・随時ご協力の賛助費についてお名前を紹介させていただきます。)
(受難会修道女会へのご寄付含む)

東文恵 有山陽子 天上知子 安藤美知子 石渡浩子 飯田きみ子 岩井佐多子 犬島浩一 稲田俊治
岩淵文男 内野純江 内海典子 浦本純 大須賀育代 温品公廣 温品恵子 小野洋子 太田れい子
尾崎富士男 緒方久美子 恩田和美 柏木利絵 桂典子 上山幸子 亀井廣子 河原紀夫 川畑洋子
久保田信一 小林知津 坂詰美代子 坂木和子 佐藤省三 佐野淑子 杉山幸子 関根幸重 関根栄
関根千恵子 園田多代子 曾根なな子 竹内亨・広子 田中マサ子 高井和子 千葉賢・宏子 戸井田爾
富江崇 中西豊子 永見孝二 永見満子 橋本あき広 早瀬峰子 平賀貴久子 平山妙子 橋口頼道
藤倉寿美子 福田昌佳 福寿恵美 古井美由紀 古厩孝 増田憲治 宮崎純一 南昌宏 森美佐子 山崎真理子
山田茅畝子 安井恵美子 渡辺洋子 匿名1名

■切手 (未使用、使用済含む) その他

東文恵 阿部 荒井正子 石渡浩子 植木久美子
上西正男・美智枝 笠井たい子 亀井貞子 吉谷信義
須田晃 杉山幸子 芹田美津子 平由美 高橋キミヨ
永見孝二 長澤ヤス子 楠岡トキ子 藤倉寿美子
塙川小学校 橋口頼道 古市晃子 堀井照重 山路典子
協伸産業

■ボランティア (会報、バザー、翻訳、その他)

安藤美知子 恩田和美 岡澤麻里 佐伯三郎 坂詰美代子
武田とよ子 富江崇 長島信夫 長崎すみ子 南信次
増田憲治 吉永洋子 渡辺洋子

■編集後記

日本経済は震災と原発で委縮してきました。国民の消費意識は疲弊し、観光地は閑古鳥が鳴き、イベント事業は中止が相次いでいます。しかし、少しずつ人々は通常の消費活動をする事で経済が、持ち直す事を気付き始めています。

私たちが被災地の人々の痛みを、我がことと感じながら、笑みがあふれる日が来ると信じて支援してまいりましょう。(大須賀)

お名前掲載を希望されない方は、お手数ですがその旨事務局までご連絡をお願いいたします。

